

繪本に対する五、六才児の興味

日本女子大学

奥野あや
前田美和子

一、五・六才児の絵本に対する興味がどこにあるかを追求すること
を私達の目標としました。

二、調査期日七月月初旬から十月末日まで

三、調査園及び園児数

幼稚園	男児数		女児数
	名	名	
杉並区立井草幼稚園	七〇名	七三名	
本郷第一幼稚園	一五	一五	
台東竹町幼稚園	八九	七二	
福島県立保育園(保育園)	四二	四二	
静岡県富士見幼稚園	五一	一〇	
静岡県今泉小学校一年	二五	一四〇	
家庭の五・六才児	八一	六	
小計	二五四名	二六八名	
合計	五二二名		

フレーベル館発行のキンダープック、トツパンのおもちゃの国、言葉の絵本、東京絵本発行の子供と動物、永晃社発行の元気な遊び、ひばり書房のりもの、赤本と云われている三冊の絵本等を用い内容の面からは日常生活を描いている生活絵本、動物を描いた動物絵本乗り物絵本、自然を描いたもの、社会事象、子供の遊び道具、おもちゃなどの画されたもの、色彩の面からは赤本の様に印刷が悪くて色の濁つているもの、中間色を用い薄くすかした色彩で描かれているもの、鮮明に美しく原色を用いて描いてあるものの三方面から選択しました。

三、調査方法

調査日に幼稚園で対象の幼児を五名づゝのグループに分けて調査にあたつた。先ず幼児に右の十冊の絵本を束にして並べて与え最初に表紙に対する興味がどこにあるかを見ようとしたのであるがこれには子供がどの絵本に一番最初にとびつくかによつて判定しようと思つた。

四、色について

この結果からみると、幼虫は先ず

色	田舎	都會
赤色	三六・三二	一%
黃色	一二・五	一六・五
黑色	一〇・五	一三・七
青色	九・八	九・四
綠色	五・九	七・六
色	六・六	六・三
色	四五	六・八

この結果からみると、幼兒は先ず赤と黄の色に強い魅力を感じている。即ち表に示す様に赤(五七・四%)、黄色(三三%)。次いで桃色(一四・二%)。空色(一九・二%)など
の様に明るく調和された色の配合を好み深い色の感じを好む子供は全くない。それでこの表に出ている黒とか茶などの暗い色彩の好みは子供の
にともなつて現われたものであると考えて良いと思う。

五、内容について

次の表の示す通り男児に於ては色彩よりも内容（特に事物）の構図にひかれた様で、女児は内容よりも色彩の鮮明なものに強い反応を示した。それから二週間後を二度目の調査日とし、その間の十冊の絵本を対象の幼児に与えて自由に見せておいて絵本に親しませておいた。そして調査に同じ別の一組を用意し子供達がどの絵を最も熱心に取り上げて見ているかと云うことを観察した。又これを平行して、内容と色についての質問を試みた。どの絵本が一番好きか、どの色が好きかなどの質問である。

内容の点では他の絵本に比較して大勢の幼児が関心を示しているのは、表に示す様に、男児は乗物ごっこ。砂あそび。水あそびなどに関心を持つものに対し、女児は家庭生活の模倣特に母親の模倣である人形ごっこ。おままごと。お手伝ひ（かたたき、とりのえさ、お使ひなど）。その他切り紙、図画粘土細工、歌を歌つたりする構成遊戯に興味を持つ傾向がある。特に衣食住の問題に対し、興味を示すのに対して、男児は殆ど興味を示していない。

本 名	田 舎	都 会
男 兒	女 兒	男 兒
おもちゃのくに	五・二%	三一〇%
のりもの	四四・二	一〇・七
どうぶつ	一二・六	五四・一〇・一
キンダーブック	九・一	九・七
げんきな遊び	三・一	一・三
こともとどうぶつ	八・六	一・三
ことばのえほん	七・一	七・一
六・五	二二・〇	二一・六
八・九	一一・〇	一一・〇

綠	黑	青	空	桃	黃	赤	
色	色	色	色	色	色	色	色
四	六	五	九	○	二	六	三六%
•	•	•	•	•	•	•	
五	六	九	八	五	五	三	%
六	六	七	九	一	六	一	二%
•	•	•	•	•	•	•	
八	三	六	四	七	五	一	

(+) 子供の生活を描いたもの

男女をとわず興味を示している。特に男児の方が多い。そしてそれは動物が单一に描かれているものより動物園とか、子供と動物がたのしげにたわむれているもの（たとえば、さるの電車、さる芝居熊のおどり、象、馬に子供が乗っている所）に興味を持ち、非行動的なものより行動的なものに興味を持つていて、共に絵本を見て知つてゐる動物の名を云いながら指さし知らない動物の名を聞き出すと云つた風に経験の再認と新しい経験を求める傾向が見られる。

(二)動物繪本

終戦後の傾向として、アメリカの汽車、スクーターなどに関心を示している。唯られつされた乗物の玩具よりも鐵橋の上を煙をはきながら進んで来る汽車、それに手をふる子供達、自動車、自転車、スクーター、トラック、電車の交叉するロータリー、子供が三輪に乗つてお使いに行く構図などを好む。特に男児では「のりもの」以外の本を手にしない子供が數人あつた。女兒は男児に較べて少く六才児に於てはきわだつて減少している。

卷之三

他の内容と比べると子供の示す興味は少い。たのしい町の画かれているものについて山の手の子供は興味を示し、下町の子供は特に職業を表現している絵例えはチンドンヤ・オマワリサン・ソバヤ、写眞屋の様なものを好む。そこに子供の日常生活環境がよく出ている

自然を描いたもの

都会の子供より田舎の子供の方が多く興味を示し男児は虫、女児は花を好み、男児は花に殆ど関心がない。

社会的事象

内、童謡、童話、想像的なもの		社会絵本	山の手	都会
た の し い 町	業 ロ ー タ リ ー 道 職	男児 一八・八%	女児 三六・六%	男児 下町
三 五 五	二 一 一 二 八	一 一 一 八 八	一 一 一 六 三	男児 田舎
一 八 三	一 〇 三	一 一 一 六 三	一 一 一 六 三	女児 田舎
一 七 二	三 五 八	一 一 一 八 五	一 一 一 八 五	男児 田舎
一 三 三	六 七 七	一 一 一 九 九	一 一 一 九 九	女児 田舎
八 九	六 四 四	一 一 一 九 九	一 一 一 九 九	男児 田舎
八 九	五 一 一			女児 田舎

(六) 童謡、童話、想像的なもの
男児に較べて女児の方が多少
たのしんで見る様である。

以上内容と色の点を調査によつて具体的に考察しましたが、特異な例として極でも統率的な立場にあり知能指數の多い一人の男児はおもちゃ、又はおもちゃによつて遊んでいる生活を描いたものには少しも興味がなく実物のおもちゃを手にとつて遊んで見なければちつとも面白くないと云つた子供があつた。

内容と色彩は切り離して考えるものではなく、両方がすぐれていて、はじめて幼児の関心をひくのである。特に六才児は一冊の絵本の中味がばら／＼で断面的なものより一つの主題に統一されていく連続した絵本を喜んでいた。

こゝに具体的な考察を試みるために便宜上、内容と色彩を切り離した形を取り、私共の選択した十冊の絵本による幼児の興味を引き出しましたが、これは全般的に云うことではないと思ひます。